

平成26年度事務事業評価議会評価報告書に対する予算反映等改善書

事業名 2-3-1 災害対策事業

【予算反映等改善事項】

災害対策事業については、平成12年度から災害時の食料を備蓄、更新してきたところであり、平成26年度からは、平成26年3月に、徳島県災害時相互応援連絡協議会で策定した「南海トラフ地震等に対応した備蓄方針」に基づき備蓄を進めてまいりました。

また、平成27年度は、小松島市総合防災訓練を約10年ぶりに実施し、市民には津波災害を想定した避難訓練、避難場所・避難経路の確認を実施しました。市は、災害時の初動訓練や関係機関との連携訓練を実施し、災害時の対応を確認しました。

議会からは、「備蓄等の体制については、防災講習等の機会を有意義に活用し、周知しなければならない。今後も、市民の防災意識及び防災知識の向上のため創意工夫するとともに、発災における体制を常時とっておく必要がある。」とのことから「拡充する」の評価をいただいております。

議会評価を受け、昨年度に引き続き、「南海トラフ地震等に対応した備蓄方針」に基づき、備蓄保存食の更新、増量を行うため、昨年とほぼ同額の予算を計上したところでございます。また、補助金等の動向を見守りながら、財源の確保に努め、当初予算で計上した額以上の事業実施に向けて努力してまいります。

また、住民に対する啓発活動等については、28年度の総合防災訓練のあり方について、市民が参加しやすい形態の訓練を検討しており、予算についても昨年とほぼ同額を計上しました。

上記以外にも、施設、備品の維持管理を適切に行うとともに、資機材等の取扱について、職員研修を実施することにより、不測の災害に対する対応能力を高めてまいります。